

令和7年度病害虫発生予察特殊報第3号

令和7年7月2日
愛知 県

1 病害虫名 *Alternaria japonica* Yoshii によるブロッコリーの黒すす症状
(「ブロッコリー黒すす病」の病原として本菌の追加を徳島県が提案中)

2 発生作物 ブロッコリー

3 発生地域 東三河地域

4 発生確認の経過

令和5年頃から、東三河地域のブロッコリー栽培ほ場で、葉に黒褐色の斑点を生じ花蕾が黒褐色に腐敗する、ブロッコリー黒すす病が多発生している。本県では、本病の病原菌としては *A. brassicicola* が以前から確認されていた。

令和6年12月、農業総合試験場で病斑部から病原を分離培養したところ、形態的特徴が *A. brassicicola* とは異なる *Alternaria* 属菌を高頻度で検出した。それらの形態観察及び遺伝子診断等を行ったところ *A. japonica* であった。本菌をブロッコリー苗に接種したところ上記病徴が再現された。*A. japonica* によるブロッコリーの黒すす症状は県内で初確認である。

5 全国における確認状況

令和7年度日本植物病理学会大会において、徳島県での発生が報告され、同県より病原追加が提案されている。

6 病徴及び被害

- (1) 葉では黒色の小斑点を生じ、のちに病斑が拡大して黒褐色の斑点から輪紋となり、周辺は黄変する(写真1)。
- (2) 花蕾は黒色の小斑点を生じ、のちに黒褐色に腐敗する。病斑部には黒色のかびが生じるため、商品価値を失う(写真2)。

7 防除対策

- (1) 育苗中は高温多湿を避け、発病株は早期に処分する。
- (2) 収穫後の残渣は本病の伝染源となるため、ほ場外に持ち出し適切に処分する。
- (3) 農業総合試験場による薬剤感受性検定の結果、QoI 剤と SDHI 剤の感受性が低い菌株を確認している。

8 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-41-9513



写真1 葉の症状



写真2 花蕾の症状

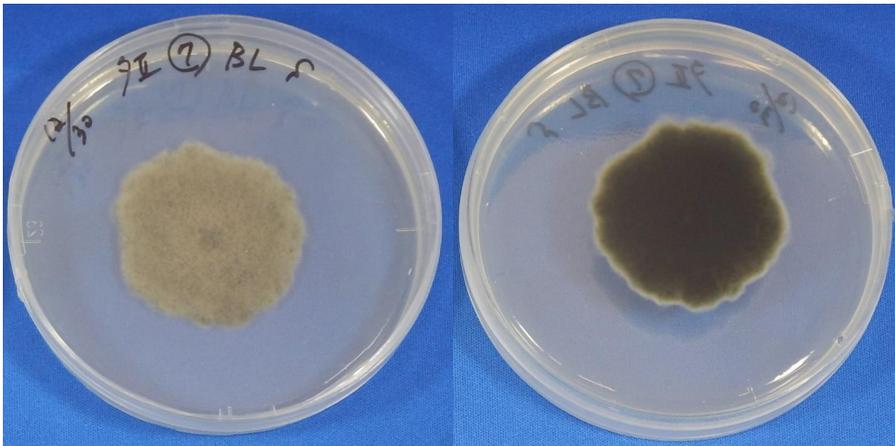


写真3 PDA 培地上の菌叢 (左：表、右：裏)

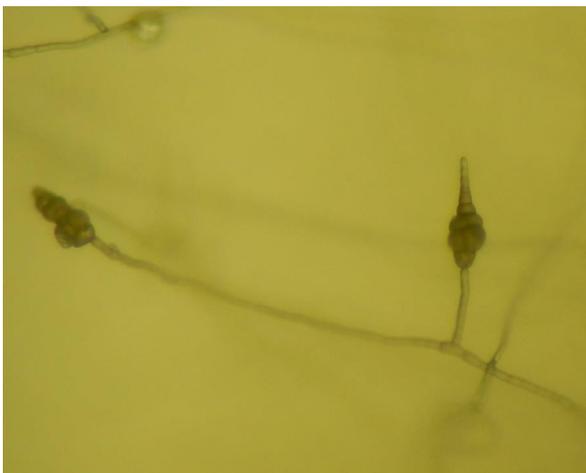


写真4 PDA 培地上に形成した分生子



写真5 PDA 培地中に形成した厚膜胞子